

2023年7月13日

<報道発表資料>

沖縄セルラー電話株式会社

沖縄本島、石垣島、宮古島および久米島を結ぶ 光海底ケーブルの共同整備事業が完了

沖縄セルラー電話株式会社（以下「沖縄セルラー」）は、西日本電信電話株式会社（以下「NTT西日本」）とソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）の2社と2022年1月に締結した協定に基づき共同で進めてきた、沖縄本島（沖縄島）、石垣島、宮古島および久米島を結ぶ大容量光海底ケーブル（以下「本海底ケーブル」）の整備が完了したことをお知らせします。

沖縄セルラーが建設した光海底ケーブル（以下、「YUI」）は、沖縄本島～石垣島および宮古島～久米島の2区間で構成され、システム長はそれぞれ約460km、約260kmとなり、60Tbps（テラビット毎秒）以上の信号伝送が可能な最先端の光波長多重伝送方式※を採用しています。

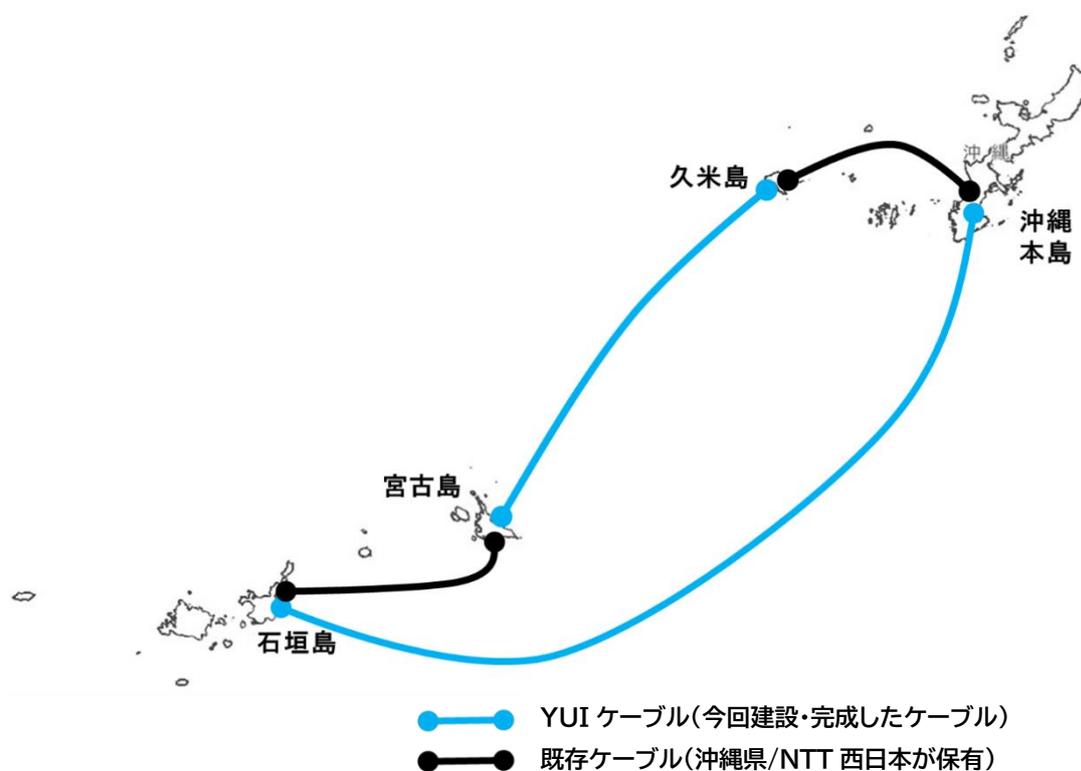
今後、沖縄セルラーは、NTT西日本および沖縄県が保有する石垣島～宮古島および久米島～沖縄本島の2区間（総延長約290km）の既設海底ケーブルを活用し、YUIと接続することで、コストの最適化を図りながら4島を結ぶ信頼性の高い沖縄離島エリアのネットワークを整備していきます。

今回整備が完了した本海底ケーブルは、5G（第5世代移動通信システム）などの高速・大容量通信に加え、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）、DX（デジタルトランスフォーメーション）などによる産業の多様化や、離島を含む地域社会の活性化（地域創生）を実現する持続可能な社会を支えるとともに、近年想定されている南海トラフ地震などの大規模災害に備え、本州から沖縄本島、そして離島へと安定的な通信サービスを確保するための重要な通信インフラとなります。

沖縄セルラーは地元企業として、離島の課題解決に向け、今後も本海底ケーブルYUIを活用した5G、IoT、AI、ビッグデータなどの新しいサービスを推進していきます。

※波長が異なる複数の光信号を1本の光ファイバーに同時に乗せることにより、ケーブルの大容量化を実現する通信方式。

■沖縄離島エリアネットワーク概略図



※ 国土地理院の白地図を加工して作成

参考)

沖縄本島、石垣島、宮古島および久米島を結ぶ光海底ケーブルの共同整備に関する基本協定を締結 (2022年2月8日報道発表)

https://okinawa-cellular.jp/common/uploads/news_220208.pdf

以上

本件に関するお問い合わせ
沖縄セルラー電話株式会社 秘書・広報グループ 井川 TEL : 098-860-